



こちら119

発行 三井消防署
☎ 72-5101(代)

放火対策

放火による火災は、全国的に増加の傾向にあります。放火による火災は、自分たちの不注意や油断などから起こるものではなく、意図的に火をつける犯罪行為であることから防ぐのは難しいと思われがちです。しかし、皆さんのちょっとした心がけ一つで、「放火されにくい環境」をつくることができます。

地域住民と関係機関の密接な連携により、放火火災の抑制を図り「放火されない環境」をつくりましょう。

放火による火災を防ぐためのポイント



家の周りに燃えやすいものを置かない！



家の周りや駐車場は明るく！



ゴミは収集日に出す！



物置や空き家にはカギをかける！



放火されない環境作りを!!

放火の危険から地域社会を守るためには、地域の実情に即して、町内会、自治会、自主防災組織、事業所、関係機関等が一体となり協力体制を確立することが大切です。

安全で住みよい街づくりのため、地域住民自ら放火されにくい地域環境をつくりましょう。

消費生活相談室

「買い取りのサクラ」で投資欲をあおる商法にご注意ください！

発展途上国の鉱物などの採掘や輸出入をしているというA社から「わが社の転換社債を買わないか」「高利回りの配当を約束する」「将来は株式公開する」としつこく電話があった。放置していたが、最近、別のB社から、「A社の転換社債を高額で買い取る」と何度も電話があったため、「欲しがる業者がいるということはもうかる」と思い、一口10万円の転換社債を総額500万円分購入した。

このような投資をもちかける電話があっても信用するのは危険です。A社とB社が共謀して、高く買い取ると持ちかけて投資欲をあおっている可能性があります。

信用性の確認できない会社の「社債」「未公開株」などは、投資をしても「ほぼ全損」になる危険性があります。多くの人から資金を集め、最初のうちだけ配当を支払い、結局は破綻した業者は過去にたくさんあります。

心配な時は、消費生活相談室にご相談ください。

小郡市消費生活相談室

- ▶窓口開設日
毎週月・火・木・金曜日／午前9時～正午、午後1時～4時
- ▶問い合わせ先
小郡市消費生活相談室 (☎ 72-2111 内線 144)

